

プログラム 第9回日本神経病理学会近畿地方会 2014年7月26日(土)

<世話人会> 12:00~12:50 (6F会議室)

<標本展示> 13:00~14:45 (第3実習室)

<口演> 14:55~16:45 (第3実習室)

14:55~15:00

開会の辞: 大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹先生

セッション1: 座長 藤村 晴俊 先生 (国立病院機構刀根山病院 神経内科)

15:00~16:00

1. A case of ALS with multi-systemic involvement and TDP-43 Type A deposition.

山本 徹

大阪府済生会中津病院 神経内科

2. 広範囲のAD病変を合併したFTLD-MNDの一例

○井上貴美子, 木村紀久, 森千晃, 山寺みさき, 豊岡圭子, 藤村晴俊, 佐古田三郎

NHO 刀根山病院 神経内科

3. 臨床的にCharcot-Marie-Tooth病と診断され、剖検にて神経核内封入体病と判明した62歳男性例

○辰己新水¹⁾、川崎照晃²⁾、秋口一郎²⁾、河本泰裕³⁾、池本明人⁴⁾、漆谷真¹⁾、高橋良輔¹⁾

1) 京都大学神経内科

2) 康生会武田病院神経内科

3) 洛西シミズ病院神経内科

4) 京都市リハビリテーションセンター神経内科

セッション2: 座長 伊東 恭子 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

16:00~16:40

4. 腎糸球体硬化を合併する家族性小頭症(Galloway-Mowat 症候群)の剖検例

1) 関西医科大学第二内科

2) 神戸大学小児科

3) 熊本大学小児科

○塚口裕康¹⁾、庄野朱美²⁾、仲里仁史³⁾、飯島一誠²⁾

5. 脳主幹動脈閉塞による多発性脳梗塞をきたしたintravascular lymphoma (IVL)の剖検例

1) 京都府立医科大学大学院 分子病態病理学

2) 国立病院機構 舞鶴医療センター神経内科

○丹藤 創¹⁾、伊東恭子¹⁾、安田 怜²⁾、吉岡 亮²⁾、伏木信次¹⁾

16:40~16:45

閉会の辞: 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次